

9.21全国護国神社 世界平和の祈り

届け! 和の精神、文字^{たま}霊にのせて

2017年
9月21日(木)

全国の護国神社で同日開催

愛による世界平和の奉納揮毫



皆様のご参集を心よりお待ちしております。



太子くん

主催: 和プロジェクトTAISHI

名古屋市千種区見附町2丁目23 Tatsu内 和プロジェクトTAISHI事務局

電話: 090(8737)7867(宮本) Email: taishi@tatsu.ne.jp URL: <http://www.tatsu.ne.jp/wa>



和プロジェクトTAISHIの「TAISHI」は聖徳太子の「太子」、大きな志の「大志」、和と愛を世界へ伝えるアンバサダーとしての「大使」を意味します。2022年の聖徳太子ご聖忌1400年に、「和の精神」が最初に明文化された『十七条憲法』を世界遺産に登録することを目指しています。日本の心であり、宝ともいえる「和の精神」を国内に改めて広く伝え、さらに「WA」という新たな概念(循環と寛容と調和の精神)として世界へ発信するためです。

趣意文

全国の護国神社は英霊を祀るため、どうしても戦争、軍国主義のイメージをもたれがちです。しかし、実際に参ってみると戦争礼賛ではなく、「平和」を願う石碑がそこかしこに建立されています。また、一般の神社よりも清浄で穏やかな雰囲気のお宮も少なくありません。

英霊の多くは未来ある若者たちでした。世界が平和で戦争さえなければ、死ななくて済んだ方々です。英霊にとっても、世界平和は本願だったはずです。

同時に護国神社を支えている氏子崇敬者は主に遺族や戦友です。しかし、戦後七十二年が経ち、その遺族や戦友がいなくなれば、対策を講じない限り、衰退する護国神社もでて参ります。

そこで九月二十一日の「世界平和の日」に、全国の護国神社で「世界平和」を祈念した奉納イベントを同時開催いたします。そして、本来の創建趣旨を損なうことなく、護国神社を戦争や軍国主義のイメージから、「平和を願う聖地」に変えます。そればかりかこの活動を日本の「和の精神」を国内外に発信する、国民的な運動にしたいと考えています。

護国神社が持つ「戦争」という負のイメージを、「平和」という清浄な光のイメージに転換することで、はじめて日本の霊的な戦後は終わり、新しい時代を迎えることが出来ると考えます。

このプロジェクトの目標の一つは、ニューヨークの国連本部にある「日本の平和の鐘」の前で、「世界平和」と「以和為貴」の奉納揮毫を行うことです。奇しくも「世界平和の日」に、毎年国連で「日本の平和の鐘」が鳴らされることは、この目標を掲げる上で必然だったといえましょう。



国連平和の鐘を守る会

和プロジェクト TAISHI 代表
『この国を愛するために靖国』著者
宮本辰彦

<http://www.tatsu.ne.jp/wa>